

登場人物

リーニヤ

優秀な魔法職

カイトとは幼馴染



勇者カイト

天才的剣の腕を持つ



Level 32

魔王



Level 50 MAX

大陸の支配を

目論む



リーズリッド・フェンリル

魔王の側近

戦闘狂

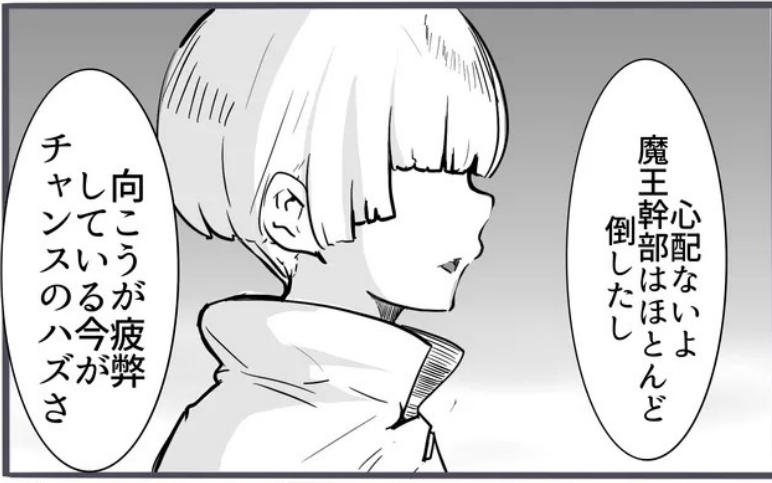


明日はいよいよ
魔王城に乗り込む
決戦の時だ

世界は必ず
僕が平和にしてみせる

勇者
カイト

魔法職
リーニヤ



向こうが疲弊
チャンスの今が
ハズさ

心配ないよ
魔王幹部はほとんど
倒したし



カイト少し
急ぎ過ぎじゃないかしら

貴方が強いのは
よく分かるけど
急ぎ過ぎると足元を
すくわれるかもしれないよ



うん頑張ろうね
カイト

さあ明日に備えて
今日はもう休もう・

明日は世界が
平和を手にする日だ

私カイトの事
信じてるから



どんな敵が来ても
絶対負けないさ

何より僕には
リーニヤがいてくれる

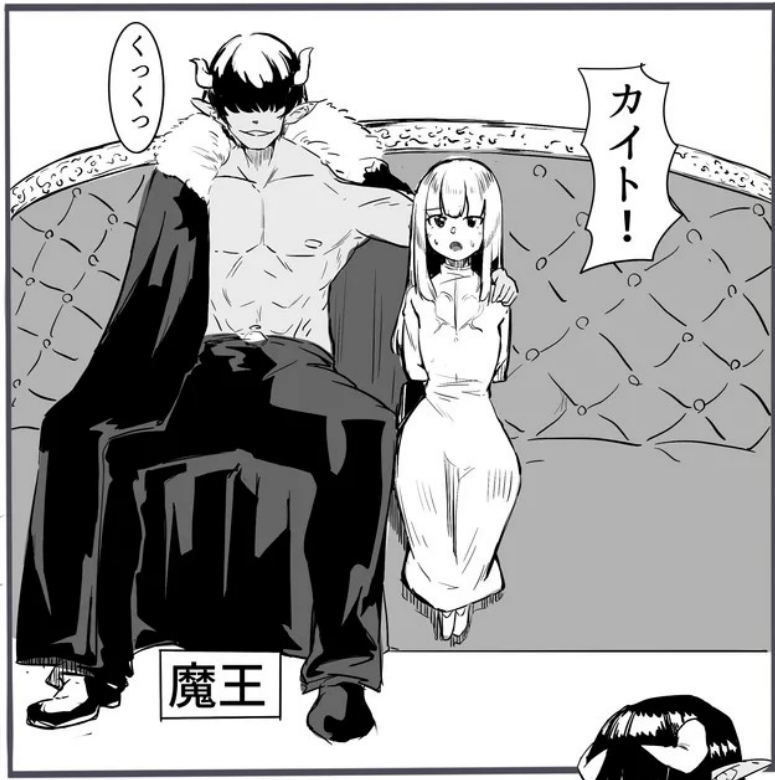


それで・
世界が平和になったら
リーニヤに伝えたい事が
あるんだ

ずっと伝えたかった
僕の気持ちを・



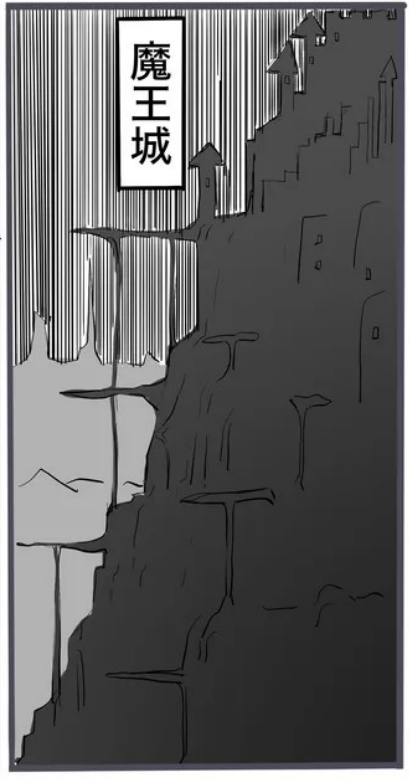
勝負あつたな
勇者



くっく

カイト!

魔王



魔王城



殺せ

魔王側近
リーズリッド・フェンリル

くっ

お願い私達の負けで
いいから
カイトを殺さないで

俺様の首を取に
来ておいて随分と
調子のいい話だな

お願いします
何でも言う事
聞きますから・

ほう・
何でもか

ならば
これを飲め

実験段階だが
魔族になる秘薬だ

これを飲み
俺様に忠誠を誓え

そうすれば
小僧の命は助けてやる

さあ

どうする？

ふざけるな！

大丈夫だよ
リーニャ・

こんな奴ら
すぐに
僕が倒してみせるから



この子
死にますよ♪



早く止血しないと



世界は僕が
平和に・

何も心配ないよ

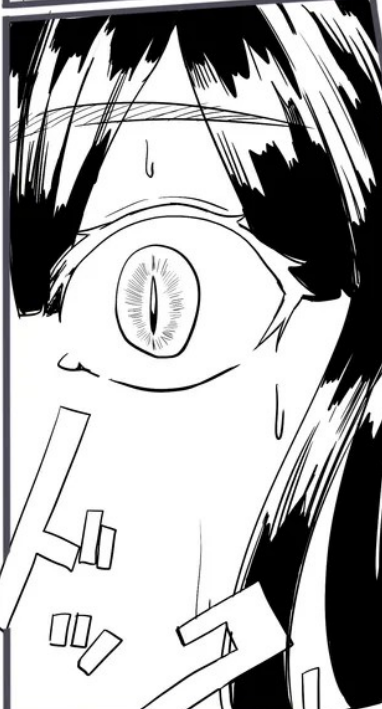


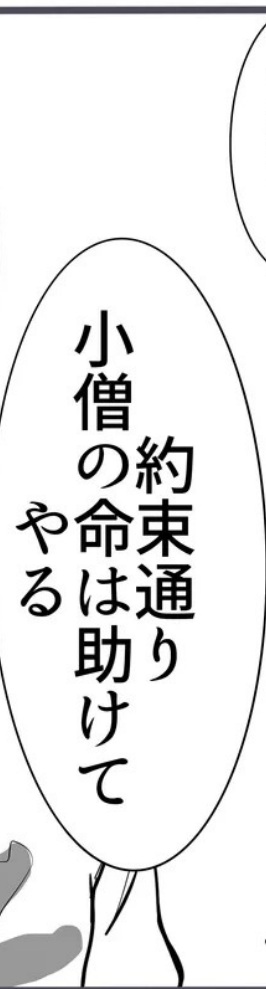
だめだっ
リーニャ!!



カイト・・

ごめんね・・





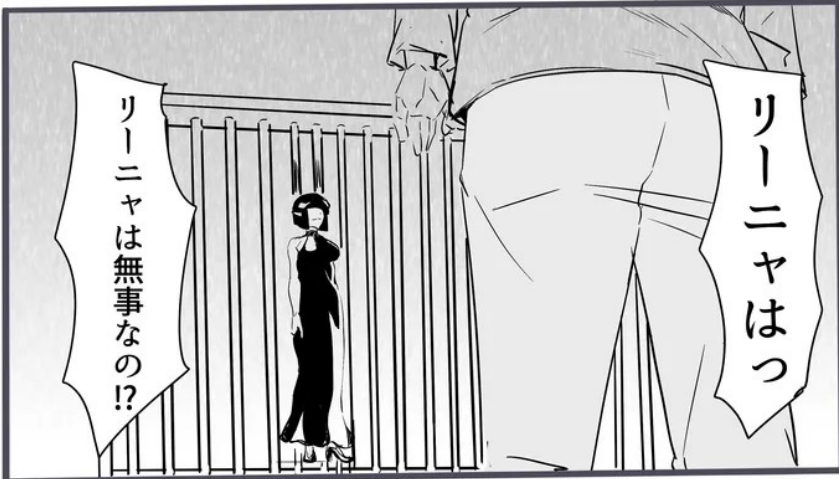


お加減は
いかがですか？
勇者様



あれから
何日経っただろう

リーニヤは
無事なのかな...



リーニヤはっ

リーニヤは無事なの!?



いえ失礼
元勇者様でしたね

わたくし
リーズリツド・フェンリル
と申します



今のリーニヤ様を



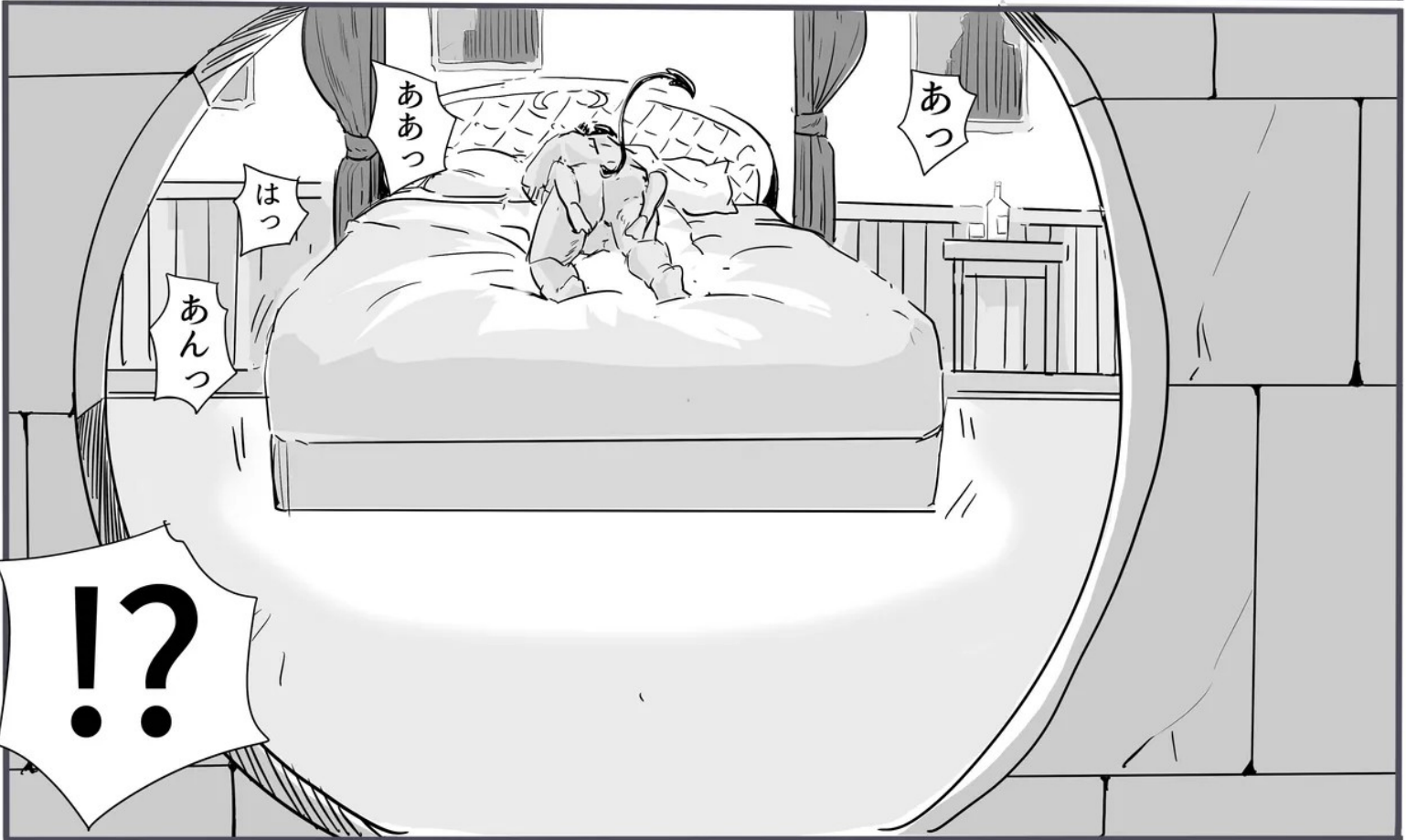
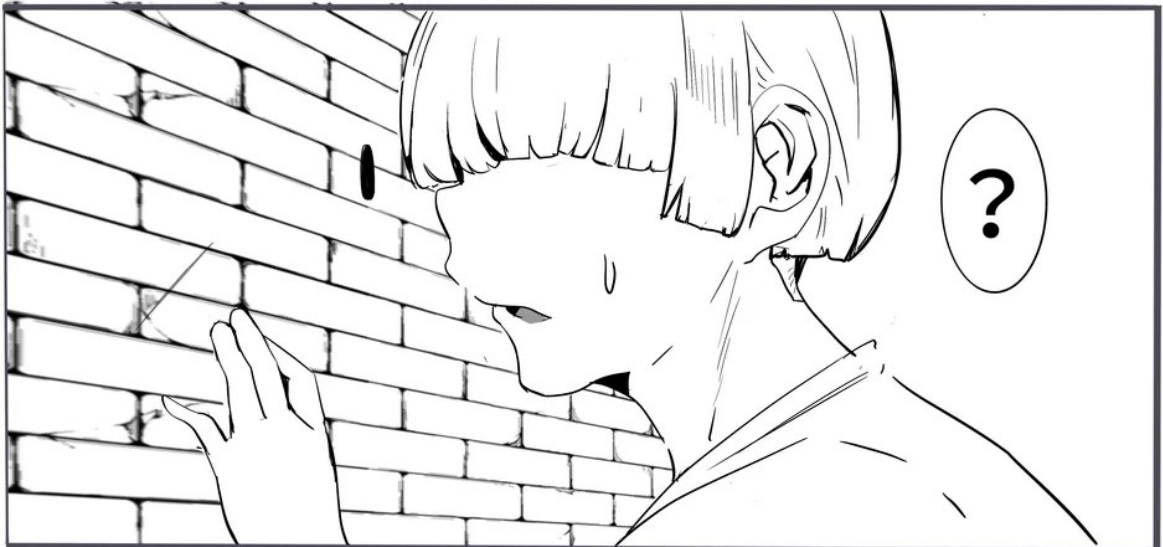
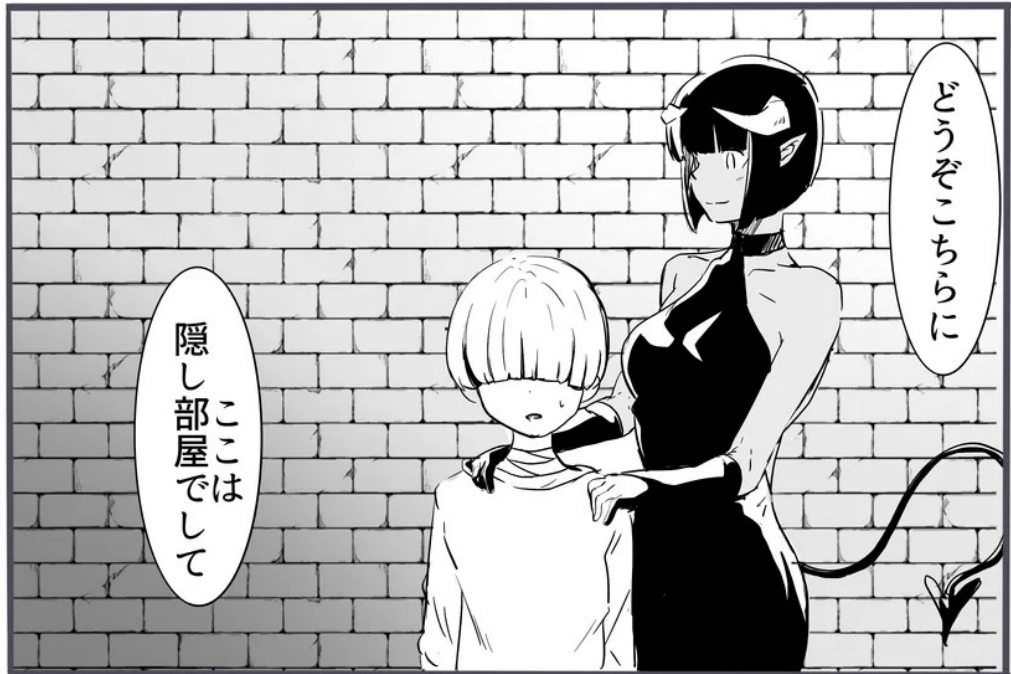
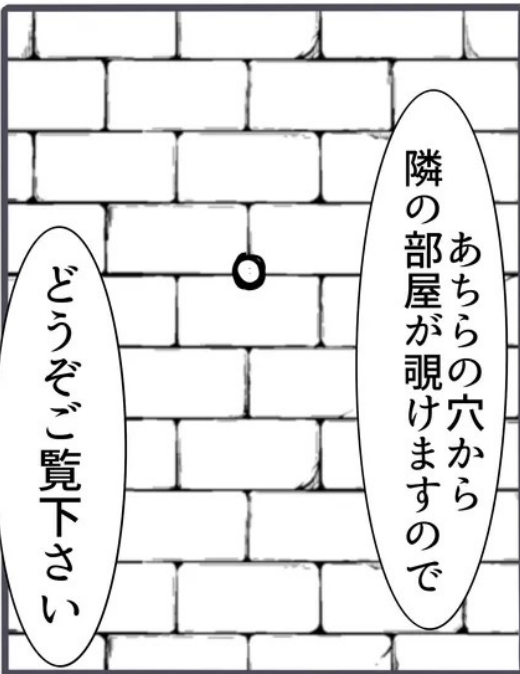
大丈夫ですよ
ふふっ

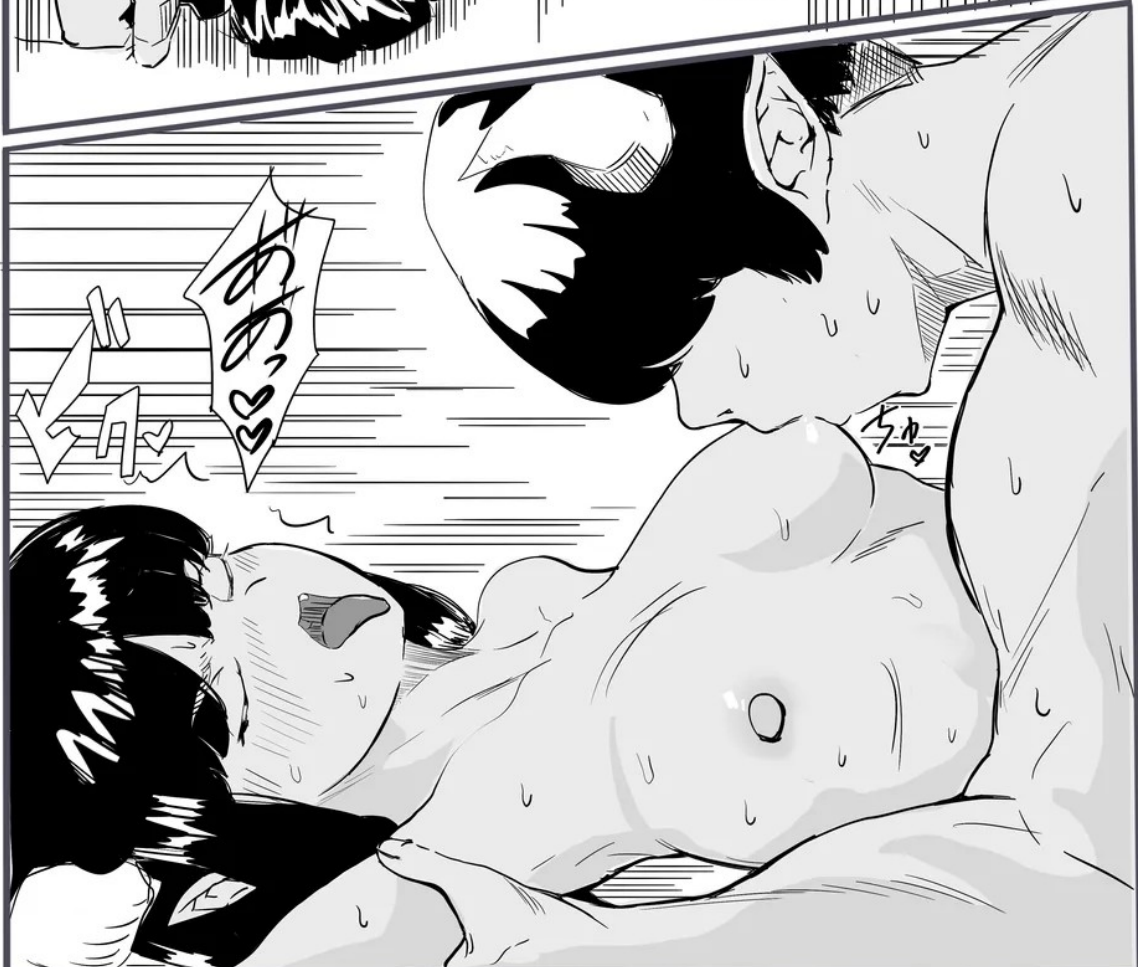
元気にされています
観に行かれますか



リズと

お呼びください♡





カイト様
どうかリーニヤ様を
責めないで下さい

あの子も最初は
頑張っていたんですよ

しかし

魔族となった躰は
性欲が増しますから

御本人では
どうする事も叶いません

加えて
ベッドで魔王様が
お相手とあつては

リーニヤ様に
勝機などございませぬ

もうすっかり
快乐を知った

女の顔になって
いますね♡

数日前



約束通り
我が支配を
受けてもらうぞ



私の事は好きにすればいい

でも身体は穢せても
心までは穢されない

貴方の思い通り
になんかならない

先ずは教育が
必要そうだな



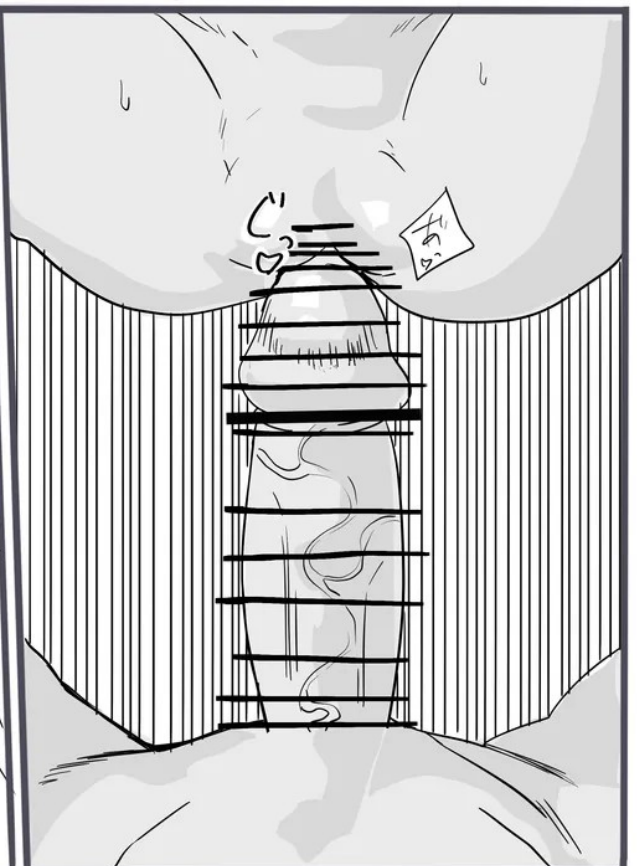
ちゅ♡

んん



!?







あの年頃の
女の子はセックスには
弱いのですから



結局一晩で陥落

と、まあ強がって
いましたが



ち○ぽもしっかりと
受け止めて



今ではあの通り

それから毎晩
調教は続いて



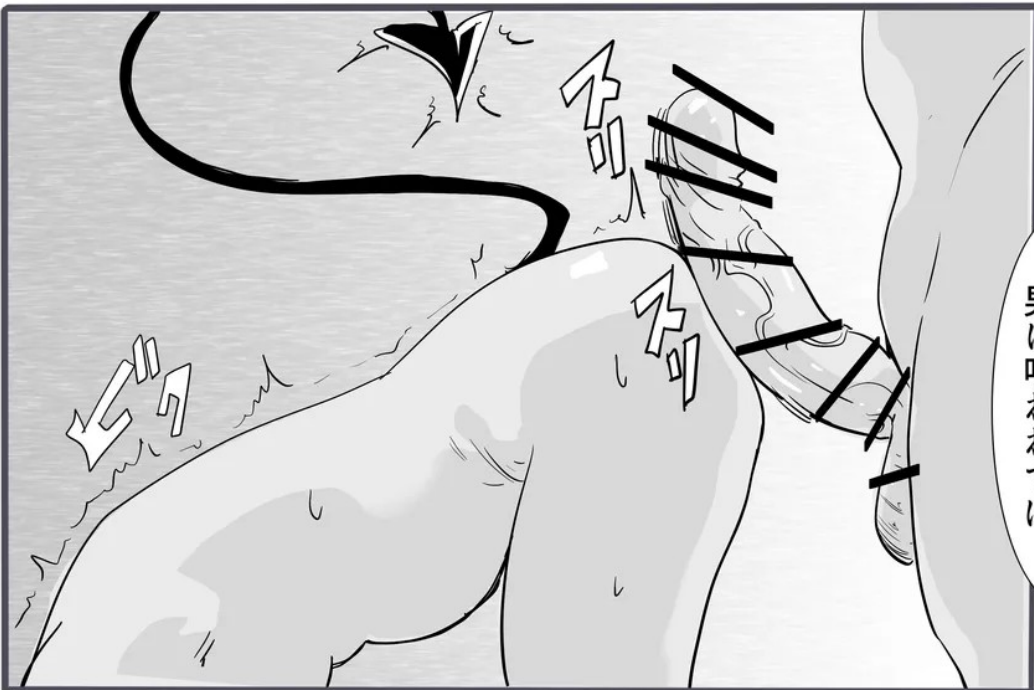
カイト様どうか
お気を落とさずに

好きだったのでしょう
リーニャ様の事

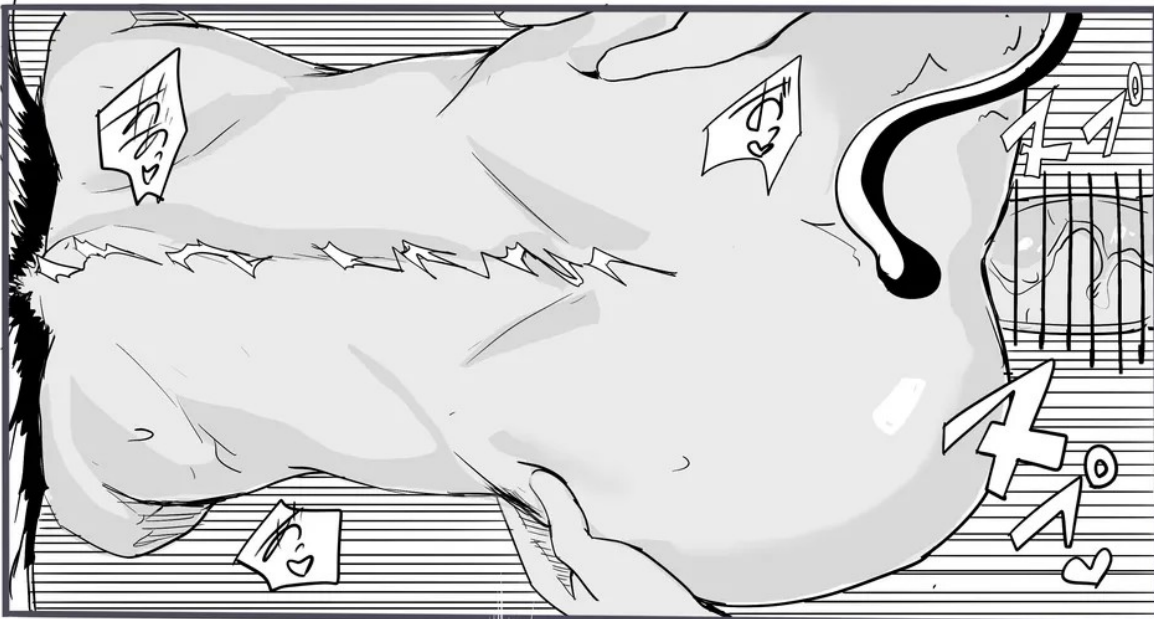


反抗的だったあの目も

今ではすっかり
牝のそれですね♪



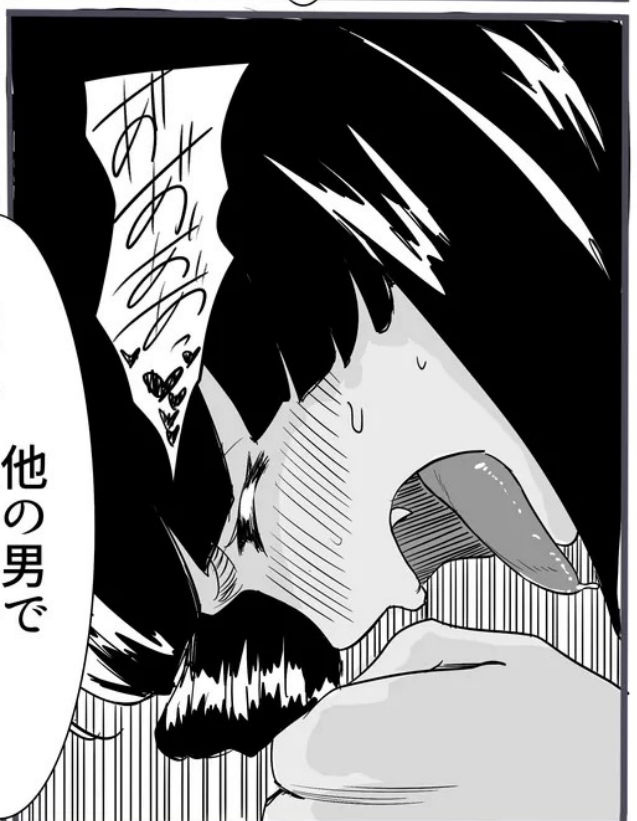
しかし魔王様という男に喰われては



リーニャ様はもう



他の男で満足出来ないでしょう



知らない♡

私知らないの♡



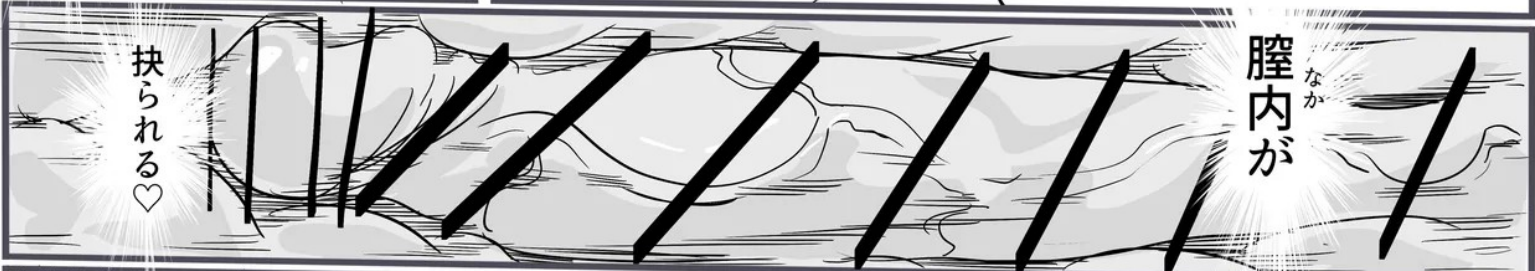
白くなつてく

頭が真っ白に



何も考えられない

エッチつて
こんなに気持ちいい
ものだったの？



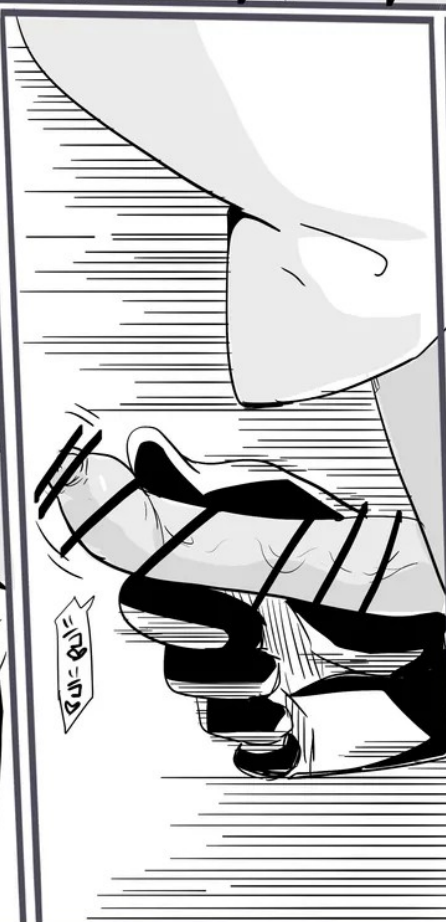
挟まれる♡

胸内が

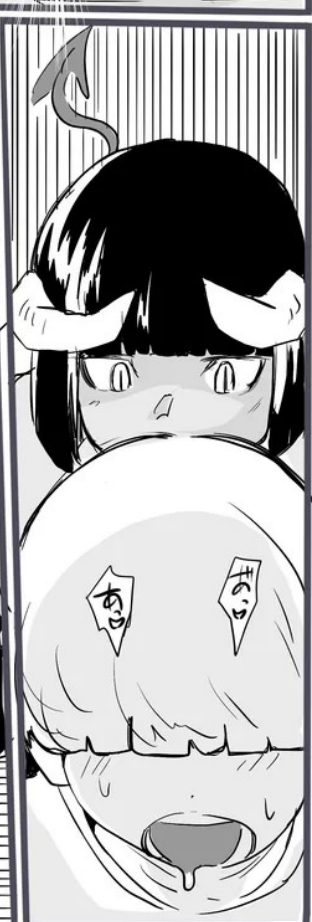


んんん

?!



んんん



んんん

んんん



お腹の方から
迫り上がって



何か
来ちゃう

来る



だめっ
大きいの
来ちゃうの



止まらない
止められない

イツちゃう♡







調教は
順調そうですね



全部飲み



溢すなよ



まだまだ続ける
みたいですね

これは朝まで
コースですかねえ

お盛んな事で

休ませて



ダメダメですねー

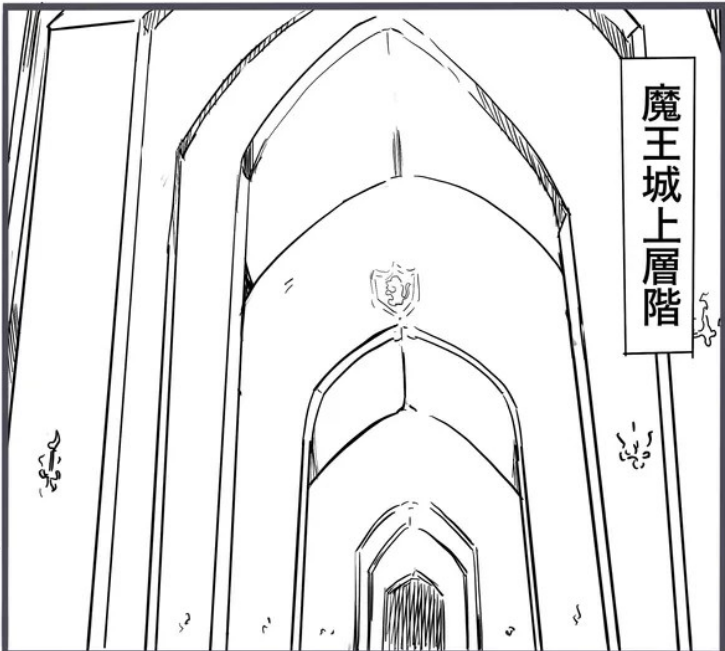


カイト様は

それに比べて



あの日から数日
が経た



魔王城上層階



しかし



この全てが夢で
ある事を祈っていた

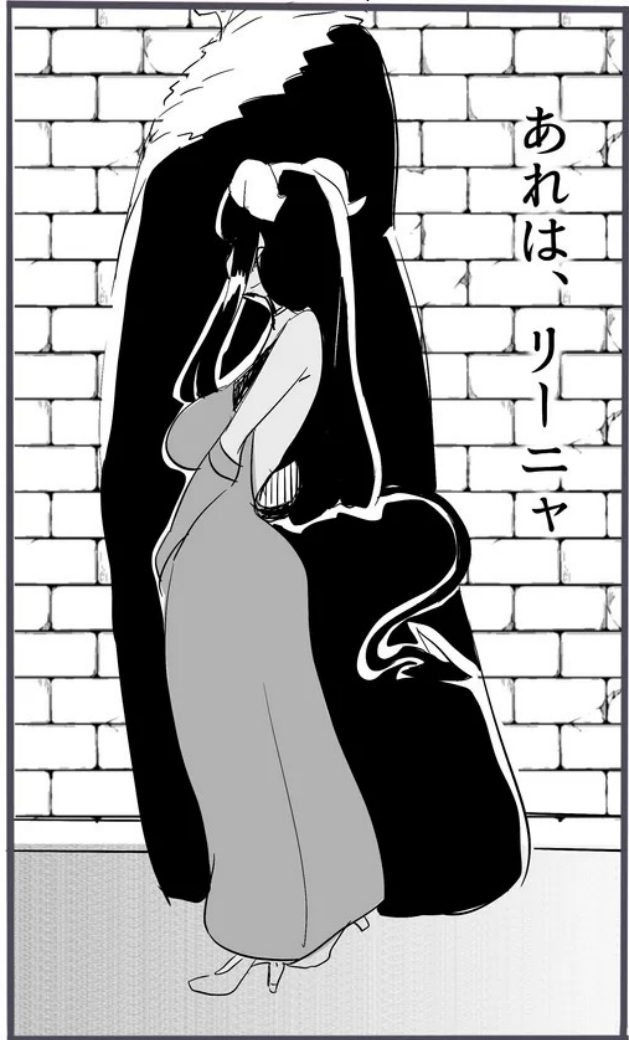


僕は何も考えられず



あんな奴と楽しんで
どうして

魔王と一緒に・・・



あれは、リーニヤ



リーニャ...

どうしてあんなに...



魔王は僕達の敵な筈なのに

倒さなきゃいけない敵なのに



観て下さいあの顔

あの顔はもう絶対魔王様に堕ちてますよ♡



女は男に抱かれると年齢関係なく

綺麗になっちゃうんですよねー



リーニャ様お綺麗になられましたよね

わっ



女の顔

してますよ



あの肌艶の良さ

全身から漂う女のフェロモン

数刻前

きゃあ



お前か
魔族になった
人間ってのは

俺達に少し
味見させてくれよ

一体どんな
声で鳴くのかな



ひっ

俺様のほう
手を出すか

ズイ

中々肝の据わった
奴等だ



部下が無礼をした
謝罪しよう



怪我は無いか

別に...



大丈夫



当然
触れた瞬間に
首が落ちるがな



どうした
遠慮はいらん
好きに喰い散らかせ

あ
スマヤン





恥ずかしいです・・

私そういう派手なモノは
ちよつと
リズさん



リーニヤ様本日は
こういったお召し物は

如何でしょうか？
お似合いになると思います



リーニヤ様も
愉しまれては？

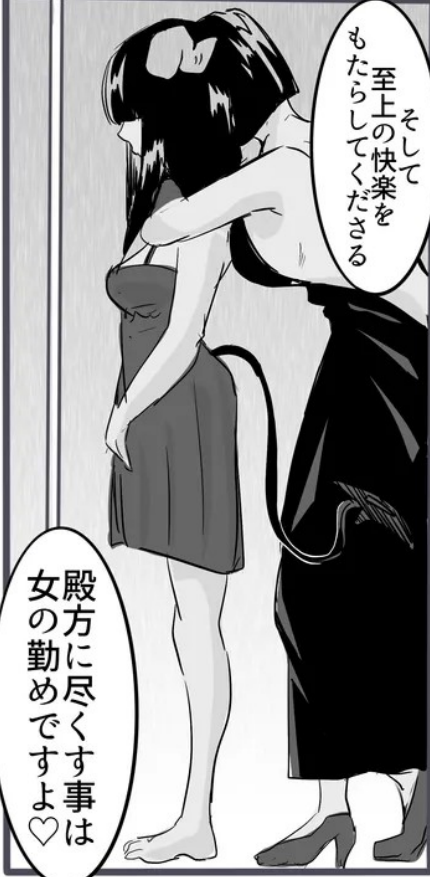
まあ難しい事は
考えず



喜んで
貰わなくて

別に魔王に
なんか

たまには良いではないですか
魔王様もきつとお悦びになると
思います



そして
至上の快楽を
もたらしてください

殿方に尽くす事は
女の勤めですよ♡



魔族も人間も

女であれば
そこに違いはありません



女の幸せ

快楽の頂を知るのは
女の命題





今夜は
サービスが良いじゃないか

中々愉しませて
くれる

気持ちイイぞ

リーニヤ



俺に

魅せてみる



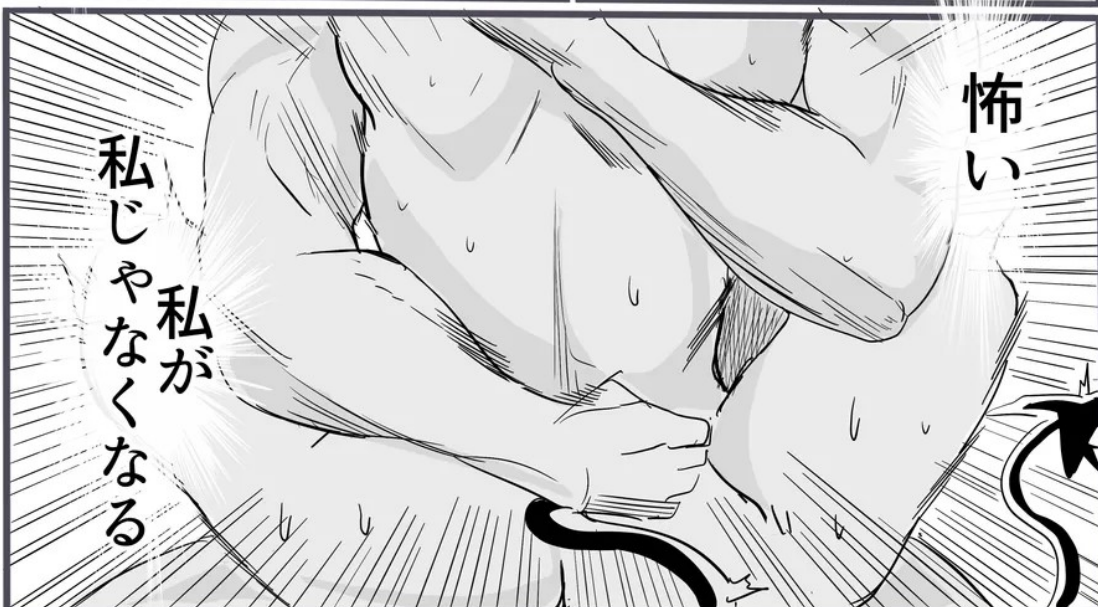
好きに動いてみる

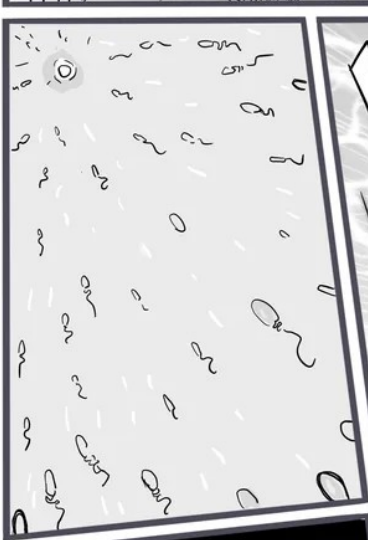
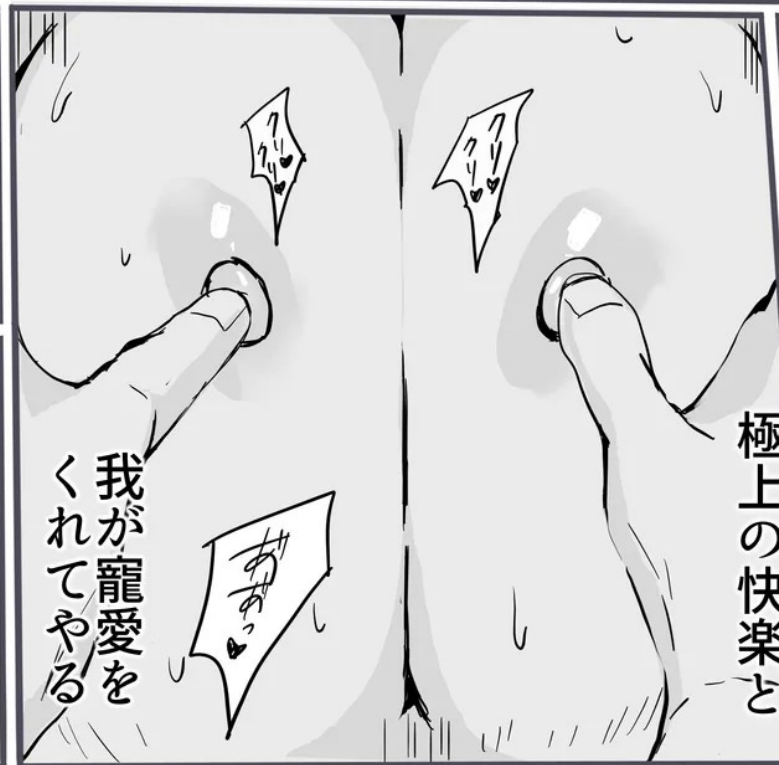
リーニヤ

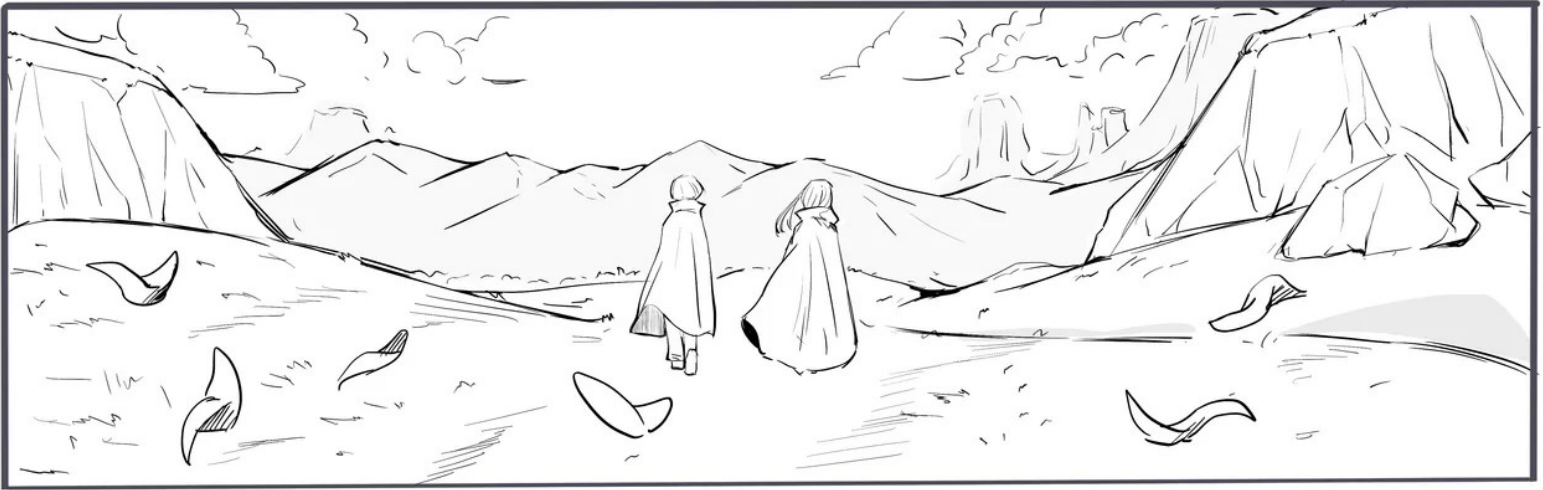


欲望のままの

お前を







数ヶ月後

カイト様本日は
リーニヤ様よりご報告が御座います

まあご覧頂ければ
お分かりかと思いますが

リーニヤ様
御懐妊致しました

これにより魔王様の
正式な妻として

リーニヤ様は
我ら魔王軍に迎え入れられます

そう言う事だから

カイト……

本当に
ごめんなさい

リーニヤ……

浴場

リーニヤ様

お背中
お流し致しますわ

カイトに
嫌われちゃたよね

私

カイト様にも
心の整理をする

時間が必要な筈です

カイト様にとってみれば
突然の話ですから

私、カイト嫌われたら
どうすれば

...

リーニャ様は
魔王様の事

お慕いしている
のでしよう

カイト様よりも

隠さなくつても
いいんですよ

だって妊娠を
許したと言う事は

そういう事ですよ？

魔法職であれば
魔力で避妊するのは
容易な事

リーニャ様ほどの
魔法職であれば
たとえ魔王様でも
妊娠させる事など叶いません
云々

まあカイト様は
こう言った情報には
無知そうですけど

伝えなければ
無理矢理孕まされた
と言う事で話は通るでしょう

ち、違つ私はただ!!
カイトの事が心配で!!

ええ、リーニャ様は
何も悪くありません

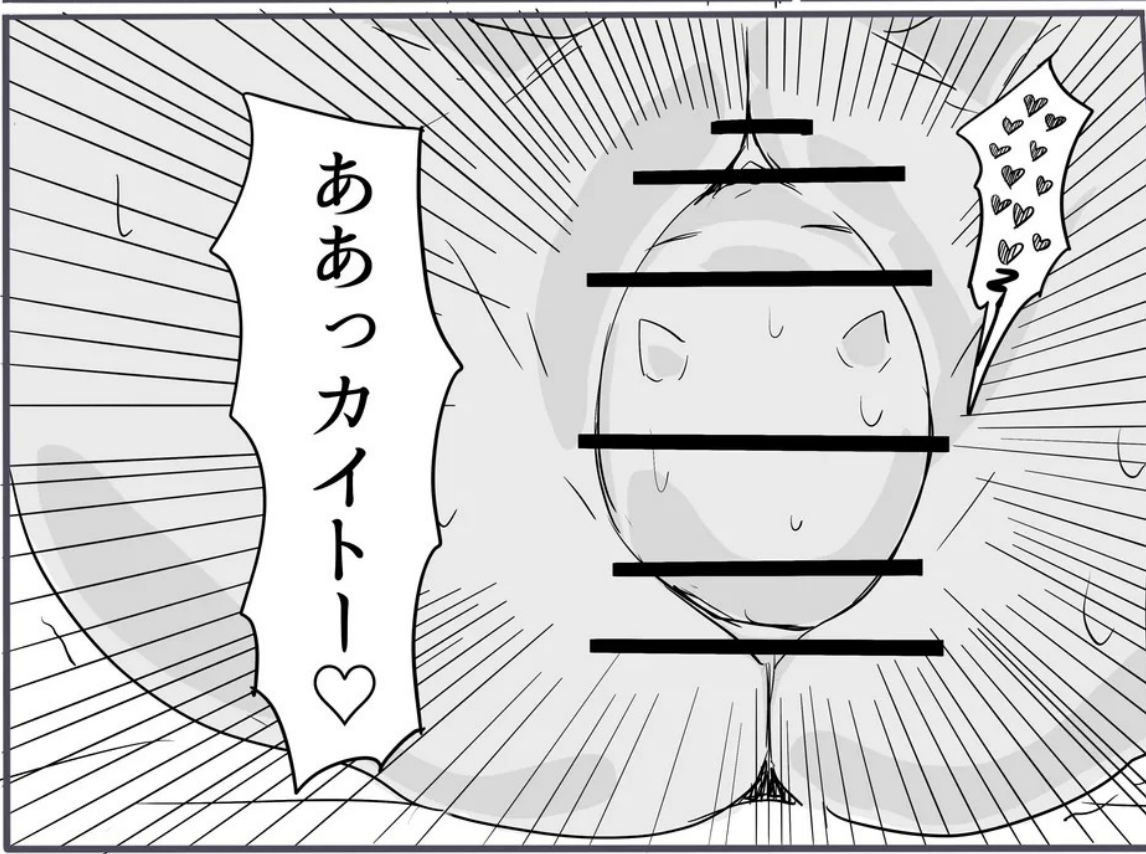
より優秀な雄を求めるのは
雌の本能ですから♡

まして孕むとなれば男は
よりシビアに厳選しないと♪

出産は女の
聖域ですからね♡

お願いカイトには
この事は言わないで

かしこまりました
リーニャ様♪





いくらでも
お産み致します

魔王様のお望み
であれば



質の良い
魔族を産んだ様だな

御苦労だったな
リーニャ



仕込んで
やるからな

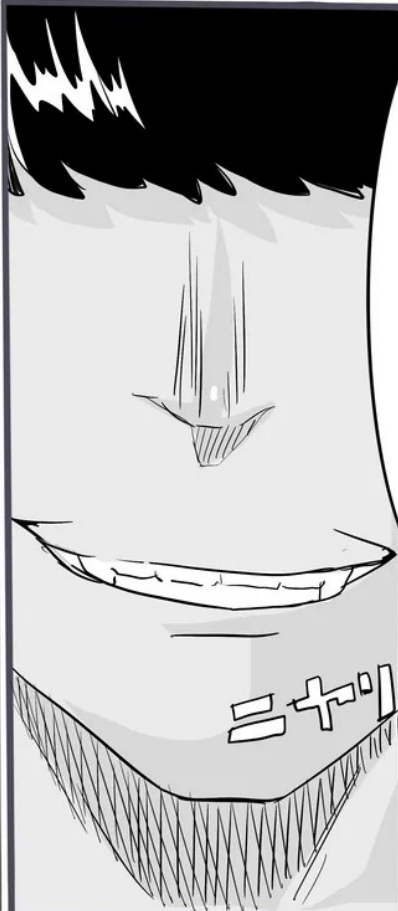
ちゅー♡
ちゅー♡

直ぐに二人目も



魔王様に

とわ
永遠の忠誠を♡



ニヤリ



魔王のものですから♡

仰せのままに
私の心も躰も

ちゅ♡



お盛んな事で♡

リーニヤ様また身籠ったみたいですね



しかし私も

カイト様は譲れませんね♡



リーニヤ様はカイト様の心を自分に繋げ止めつつ

本命の雄の子供を身籠り続ける

好きな男はどちらも逃したく無いとは中々の悪女ですね

出逢えた骨のある男

久しぶりに



リーニヤ様が
要らないなら
私が貰っちゃいましょう

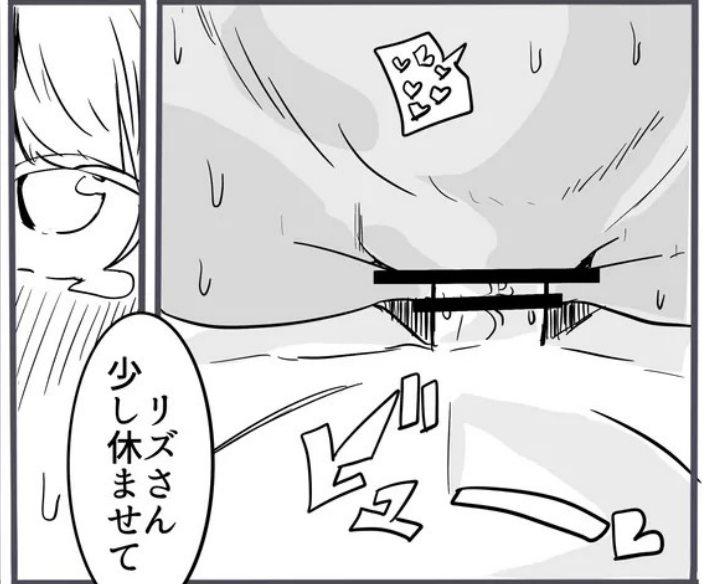


だーめっ♡

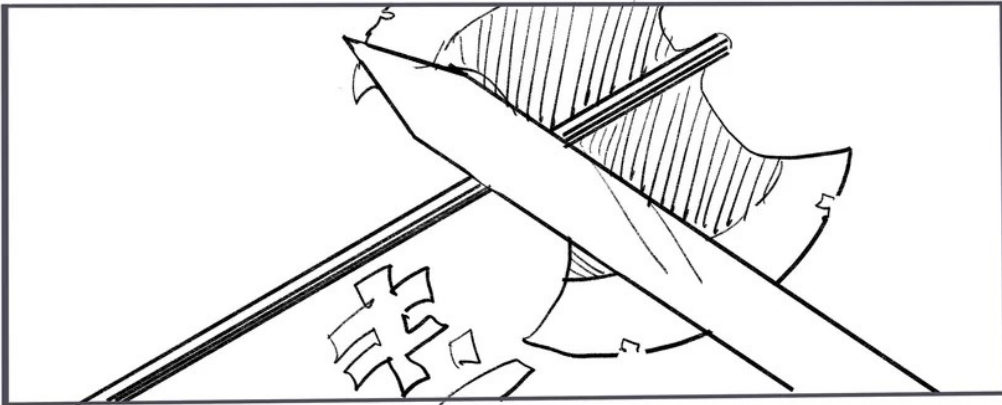
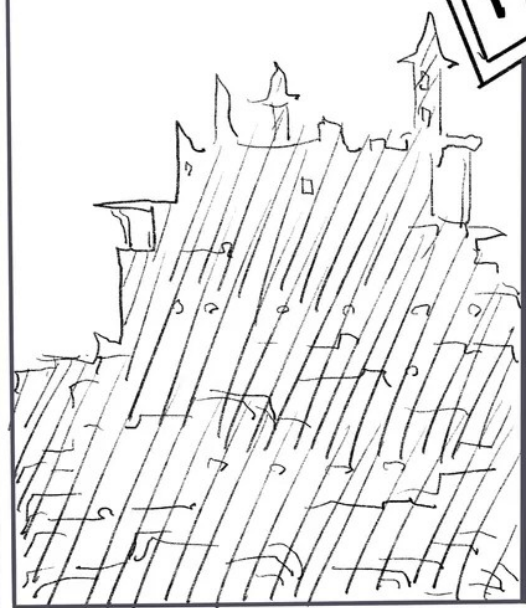
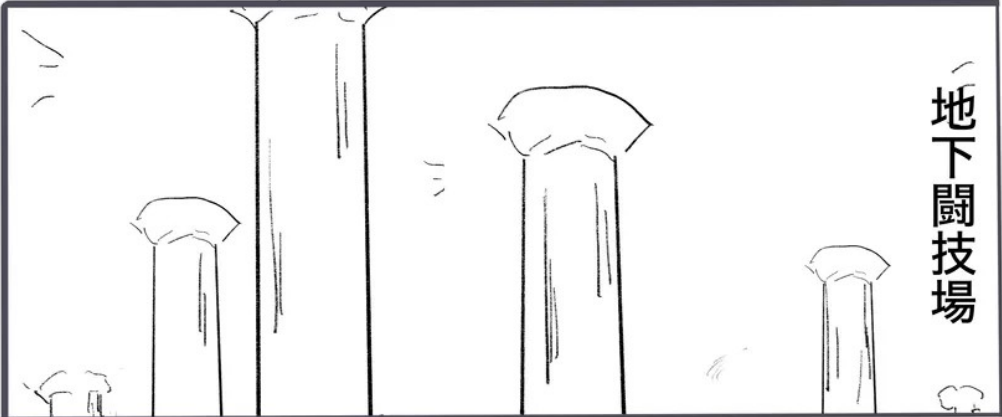
END



少し休ませて



地下闘技場



お見事ですカイト様
病み上がりだと言うのに

まさか一本取られて
しまうとは
私も鈍っている様で

貴方とは一度
戦っていますから

技も動きも
既に見切っています



もう一度と

貴方に遅れは
とりません

キョー

!!



ねえカイト様

?

何故魔王様との
決戦を急がれたのですか?

後五年...

いや二年もあれば
我々を容易に
凌駕出来たでしょうに
何故待てなかった
のですか?



リーニャ様ですか?

貴方眼を
曇らせたのは

!!

平和な世界で
あの子との甘い生活

欲望に焦り
足元を掬われましたか



僕が・・僕がいけないんだ

リーニヤはちゃんと止めていたのに

僕が焦ったばかりに全部失って・・

僕が全部悪いんだ・・

カイト様そんなに自分を責めてはいけません

カイト様程のお人が過去を引きずるのは観て要られません

失ったものよりも

得る事を考えませんか

とこころでわたくし強い男が大好きなんですよ

でも私より強い男何てそうそう居ませんから

正直持て余しているんですよ躰♡

あ、あの胸当たって・

カイト様は私の事どう思いますか？

やはり魔族の女は抵抗がありますか？

見識を広める意味でも

一度試してみませんか？

私惚れた殿方には

あ、あのその・

結構尽くすんですよ

後悔は

させませんから

やはりベッドの上では
私が上手の様ですね♡

どうでしたか？
魔族の女も悪く無いでしょ♡

もちろんカイト様の
ち○ぽも素敵でしたよ♡

そもそも
私より弱い男のち○ぽ何て
挿れるに値しませんから

ですから
私もこういうのは久々で
ついはいでしまいました♡

申し訳ありません
カイト様の初めてなのに
がつついてしまつて

それで
カイト様

私とお付き合ひ
してくれませよね♡